





綾杉地獅子牡丹蒔絵婚礼調度

指定区分	国指定重要文化財(工芸品)
読みかた	あやすぎじししぼたんまきえこんれいちようど
所在地	岡山市北区丸の内 林原美術館
指定年月日	平成13年6月22日
解説	<p>棚飾りや貝合せ具を中心に化粧道具・香道具・文房具などを揃えた婚礼調度であり、19種1組で指定されている。寛永5年(1628年)の正月に、勝姫が岡山藩主池田光政に嫁いだ際、そろえられたと伝えられる調度類。すべて木製漆塗りで、金銀の粉を巧みに蒔き分けて綾杉地とし、金銀の高蒔絵を主調とする各種蒔絵技法で獅子と牡丹の文様を描き、葵紋を散らしている。江戸時代初期の作で、国宝婚礼調度類(東京・徳川黎明会所蔵)に次いでまとまって遺存する極めて貴重な作品群である。</p>
アクセス方法	JR岡山駅から徒歩25分／バス「県庁前」下車徒歩3分／路面電車「県庁通」下車徒歩7分
公開状況	林原美術館保管
設備	<p>  駐車場  障害者用駐車場  トイレ  障害者用トイレ </p>
備考	